

「平成27年度全国学力・学習状況調査」の結果・考察と本校の今後の取組について

丹波市立遠阪小学校

文部科学省の「全国学力・学習状況調査」が6年生を対象に実施されました。本校における調査結果や今後の取組について報告させていただきます。

調査日：平成27年4月21日（火）【教科に関する調査】国語A、国語B、算数A、算数B、理科（Aは主として知識、Bは主として活用に関する問題）【質問紙による調査】学習意欲、学習方法、学習環境、学習習慣、生活習慣等

学力調査から見てきた成果と課題

国語

【国語A】（主として知識に関する問題）・・・全国平均と同程度であった。

成果：漢字を読むことや登場人物の相互関係を捉えたり、案内の中から必要な情報を読み取ったりすることについては、成果が見られた。

課題：漢字を正しく書くことや文型の理解、また、文章の中から言葉を書き抜くことについては、課題がある。

【国語B】（主として活用に関する問題）・・・全国平均とほぼ同程度であった。

成果：取材した内容を整理しながら記事を書くことについては、成果が見られた。

課題：記事に見出しを付けたり、文章と図を関係付けて自分の考えを書いたりすることに課題が見られた。

算数

【算数A】（主として知識に関する問題）・・・全国平均を下回った。

成果：加法の理解や計算、円の性質については上回った。

課題：少数や分数の減法、数量を図と関連付けて理解する分野においては課題があり、重点的に取り上げて復習する必要がある。

【算数B】（主として活用に関する問題）・・・全国平均とほぼ同程度であった。

成果：比較量と割合から基準量を求めたり、四捨五入して計算したりすることについては、成果が見られた。

課題：切り上げた場合の見積りの結果を基に目標に達しているか判断することや平行四辺形の性質、示された部分の面積を求めることについては課題があった。

理科

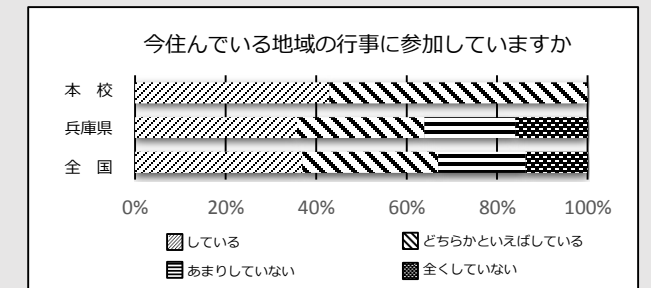
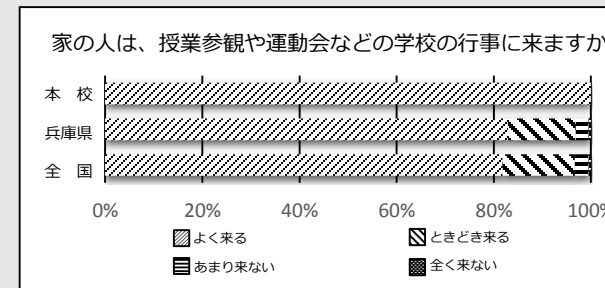
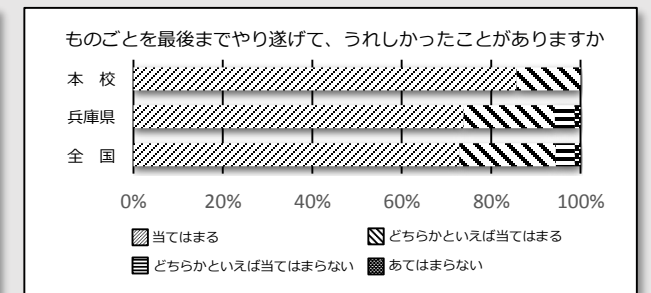
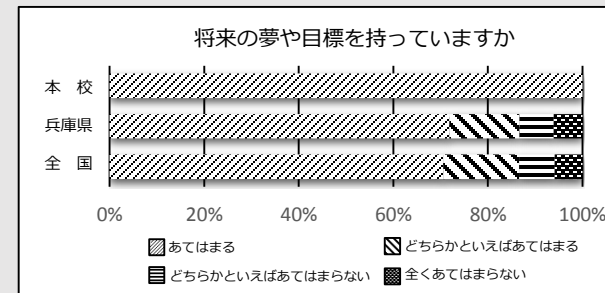
【理科】・・・全国平均とほぼ同程度であった。

成果：水蒸気の性質や星座や雲の動きについては、大変よく理解しており、振り子の運動の性質やメダカの観察についても大きく上回っていた。

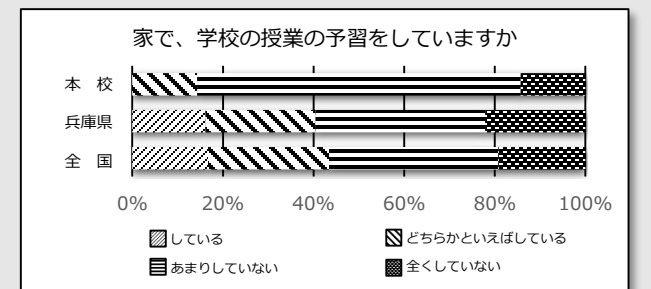
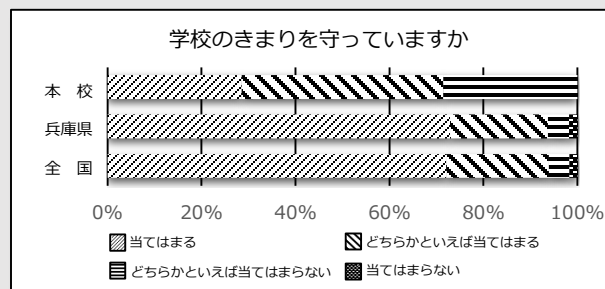
課題：メスシリンダーや顕微鏡の操作方法や名称、月の位置については、大きな課題があり、振り返る必要がある。

児童質問紙から見てきた成果と課題

成果：「将来の夢や目標を持っていますか」や「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか」の設問に、100%の児童が肯定的に回答している。また、学校行事や地域行事で豊かな心が育っていることがうかがえる



課題：規範意識が低く学習習慣があまり身につけていないという結果が出ており、少人数の良さを生かしつつ、生活や学習のきまりを徹底する必要がある。また、宿題はほぼしているものの、自主的な学習はほぼしていない。自らチャレンジできるような具体的な取組を行う必要がある。



2学期以降の改善方策

- 本年度から取り組んでいる全校（全職員）一斉の「のびのびタイム」の時間を中心に、「遠阪っ子漢字検定」や「ちーたん学習検定」など各種習熟プリントを活用した漢字力・計算力等向上のための個別指導を徹底する。
- 国語科だけでなく他教科や全校集会、表現活動、詩集「ぐんぐん」など様々な機会を捉えて、「書くこと」を意図的に取り入れ、思考力・表現力の向上を図る学習活動を計画的に実施する。
- 算数科においては、1学期に作成した遠阪小「授業スタンダード」を徹底するとともに、振り返りの時間の確保と振り返りプリントを充実させる。
- 2学期から「喜びの2学期」と題し、何事にもチャレンジすることを大切にしている。その一環として、チャレンジプリント（算数）を用意し、いつでも自主的に取り組めるようにした。強制ではないが、家庭学習と合わせて推進していく。
- 4月当初、PTAと連携し、「家庭学習の手引き」を基に、各家庭でのルール作りに取り組んだ。生活習慣や学習習慣づくりに向けて、子どもたちの現状について保護者と連携し、さらに具体的な取組を進めていく。



▲全校一斉で行う計算力向上の時間「ばんざいタイム」